

**製品名: Gab 1 (リン酸化 Tyr627) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04715**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GAB1
別名	GAB1; GRB2-associated-binding protein 1; GRB2-associated binder 1; Growth factor receptor bound protein 2-associated protein 1
遺伝子 ID	2549.0
SwissProt ID	Q13480
免疫原	抗血清は、ヒト GAB1 由来の合成ペプチドの Tyr627 AA 範囲 611-643 のリン酸化部位周辺に対して産生された。

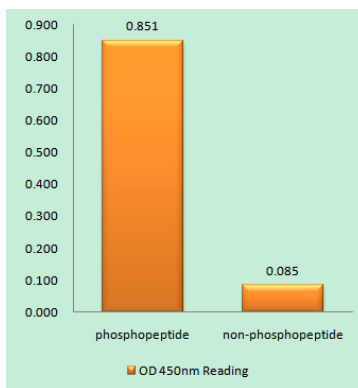
**背景**

GRB2 関連結合タンパク質 1 (GAB1) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、IRS1 様多基質ドッキングタンパク質ファミリーのメンバーです。これは分岐管形成の重要なメディエーターであり、細胞の増殖応答、形質転換、アポトーシスにおいて中心的な役割を果たします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 8 月]機能: おそらく EGF およびインスリン受容体のシグナル伝達に関与しています。、PTM: 上皮成長因子受容体 (EGFR) およびインスリン受容体 (INSR) によってチロシン残基がリン酸化されます。GAB1 のチロシンリン酸化は、SH2 ドメインを含むいくつかのタンパク質との相互作用を媒介します。、類似性: GAB ファミリーに属します。、類似性: 1 つの PH ドメインを含みます。、サブユニット: GRB2 および他の SH2 含有タンパク質と相互作用します。リン酸化 LAT2 と相互作用する。

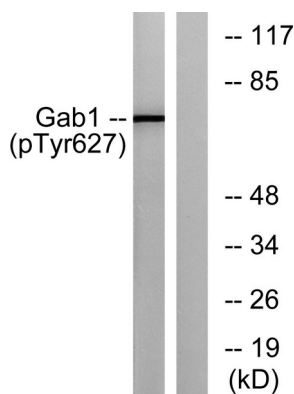
## 研究分野

ErbB\_HER;神経栄養因子;腎細胞癌;

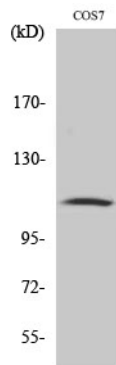
## 画像データ



GAB1 (リン酸化 Tyr627) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



GAB1 (リン酸化 Tyr627) 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが GAB1 (リン酸化 Tyr627) ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 Gab 1 (Y627) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析